

# 特集 未来を創るための第一歩

矢板市子ども未来館  
2月11日オープン

子ども・子育ての新たな支援拠点として、県より取得した旧矢板健康福祉センターの内部を改修し、2月11日（祝・木）に開館しました。施設内には、雨天時でも子どもたちが元気に楽しめる大型の木製遊具を設置した遊びのスペースと、子育て相談やイベント開催ができる多目的室などが備わり、子育て世代への支援の充実を図ります。

矢板北スマートIC  
今春開通

東北自動車道「矢板北スマートインターチェンジ（IC）」が今春開通します。これにより中心市街地や本市の観光資源の多くが存在する北部地域へのアクセスが向上するほか、市外の医療機関への救急搬送の時間短縮が図れるなど、スマートICを起点としてさまざまな効果が期待されます。

## 矢板市子ども未来館とは？

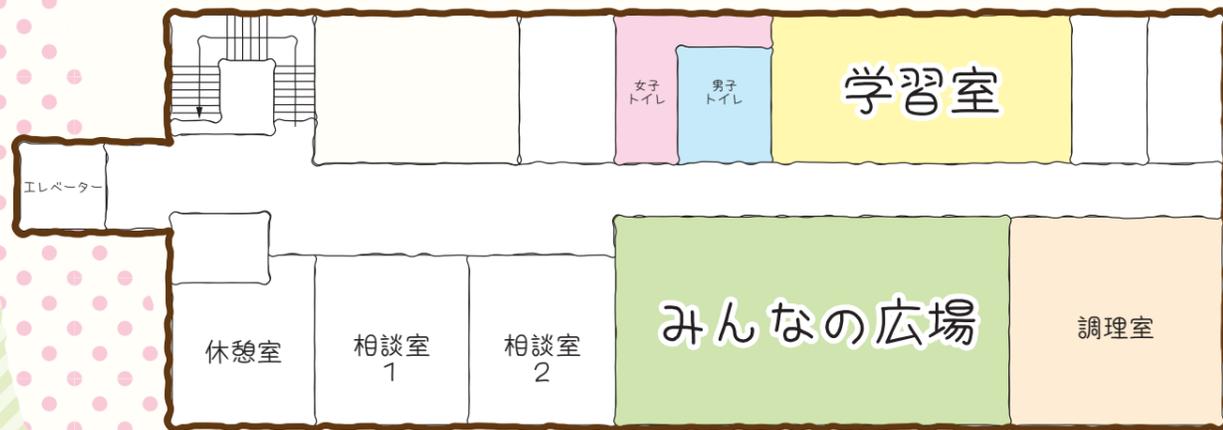
矢板市子ども未来館は、少子化、核家族化、地域コミュニティの希薄化など、子どもたちを取り巻く環境が著しく変化中、子育てに不安や悩みを持つ保護者の方たちを支援し、安心して子どもを産み、育てることのできる環境を整備する施設として開館しました。

また、気軽に集まり、交流、相談や情報交換ができる施設として多くの方に利用していただくことを目的としています。

### 1F



### 2F



## 利用案内

利用対象 赤ちゃんから18歳まで（未就学児には保護者の付き添いが必要です）  
 開館時間 9:00～18:00 ※こどもの広場、学習室の利用は予約制となります。  
 こどもの広場／①9:00～10:00 ②11:00～12:00 ③13:30～14:30 ④15:30～16:30  
 学習室／午前9:00～12:00 午後13:30～17:45  
 休館日 毎週月曜日（休日にあたる場合は翌日）、第3日曜日、年末年始  
 利用料 無料（イベントによって参加費別途）

## 館内のご案内

1階の「こどもの広場」には、地元産材を使用した木製遊具があり、雨の日でも元気に遊ぶことができます。利用年齢は赤ちゃんから小学2年生まで（未就学児には保護者の付き添いが必要です）、当面の利用は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、1時間の4クール制で、1クール予約枠10人+フリー枠10人の最大20人までと、少ない人数で思い切り遊ぶことができます。



2階には、多目的に利用できる「みんなの広場」や、晴れた日には高原山が良く見える「学習室」があり、フリーWi-Fiも完備しています。学習室の利用は、午前・午後の2クール制で、1クール予約枠6人+フリー枠6人の最大12人まで。小中学校で使用している学習用タブレットを持ち込んで通信することもできるので、ゆっくり自分のペースで勉強することができます。



## 施設のご案内

施設名 矢板市子ども未来館  
 住所 矢板市本町2番25号  
 (旧矢板健康福祉センター)  
 Tel 0287-43-0505  
 Fax 0287-43-0515

施設の利用予約は、、、  
 ホームページをご利用ください

矢板市子ども未来館



※Web予約は、予約日の1日前まで、  
 当日の予約は、直接お電話ください

本市には、昭和49年8月に開通した矢板ICがありますが、西那須野塩原ICまでの距離が18.9kmと県内最長であることや、市の南部地域に位置することから中心市街地や北部地域からのアクセスが悪く、IC周辺が混雑するなどの課題がありました。

今春開通する矢板北スマートICは、矢板IC～西那須野塩原IC区間の中間に位置する矢板北パーキングエリアに接続するETC車両専用のICで、平成28年6月から下太田・長井地内に整備が進められてきました。

今回のスマートIC開通は、これまでの課題の解消や今後の更なる観光振興など、本市にとってさまざまな効果が期待されています。

### 基本情報

- ◆利用形態：一旦停止型、フルインター形式  
※上下線とも入口・出口として利用可
- ◆設置場所：下太田および長井地内
- ◆運用時間：24時間
- ◆対応車種：ETC車載器を搭載した全車種
- ◆総事業費：約25億円



### 効果① 交通の利便性向上

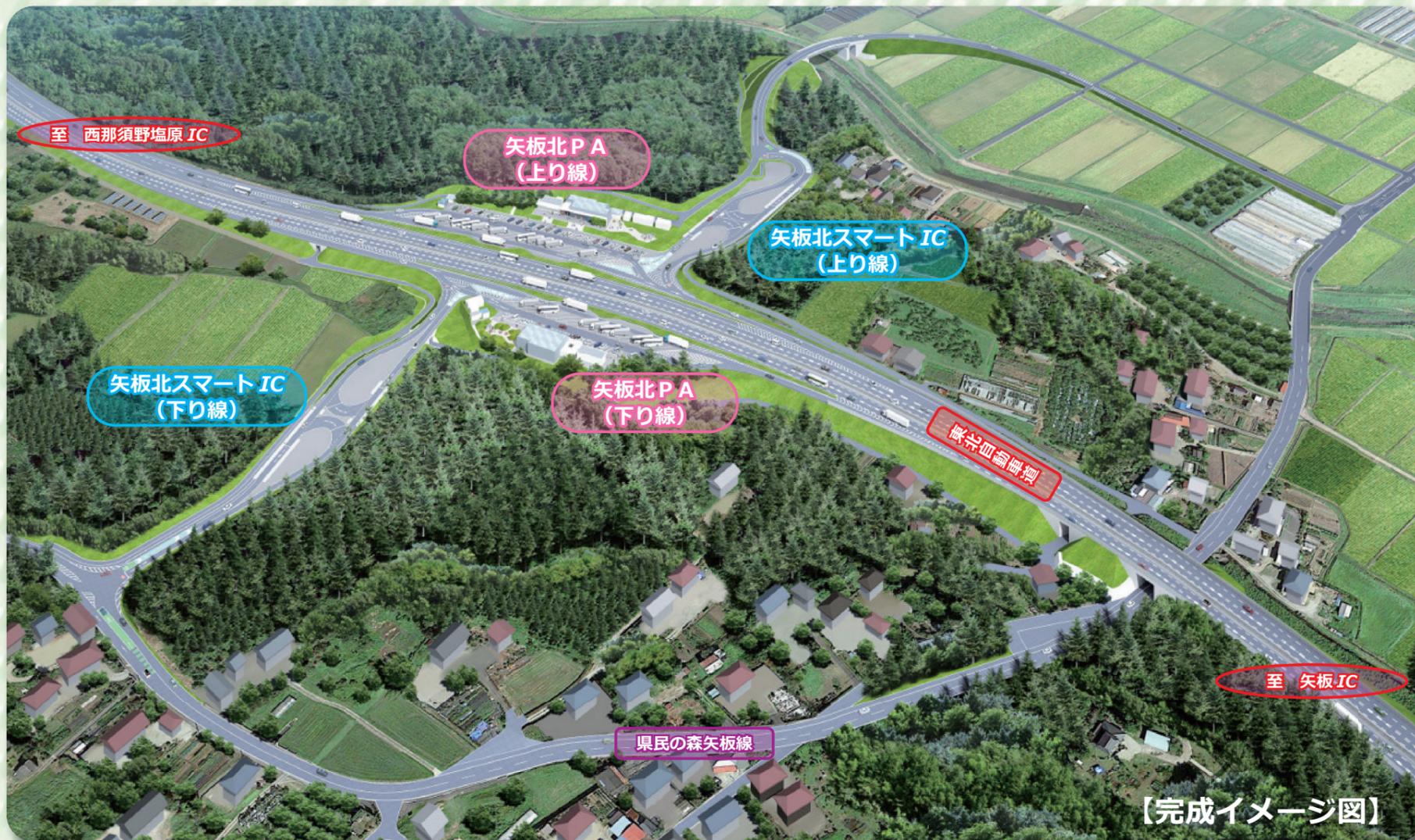
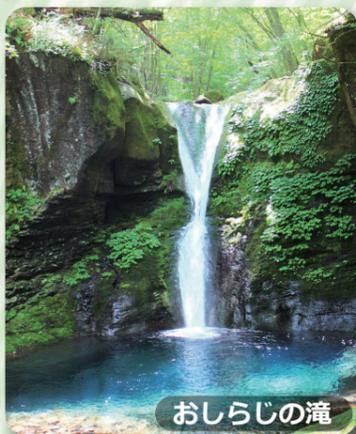
本市の人口の約3割が居住する中心市街地や北部地域から、高速道路ICまでの所要時間（距離）が短縮されるほか、交通車両の分散により主要幹線道路の混雑緩和が図られます。

### 効果② 観光の振興

北部地域には、特産品であるりんご園や八方ヶ原のツツジ、おしらじの滝などの観光資源が多く存在しています。

矢板北スマートICの開通によって、これらの観光地までのアクセスが向上するため、北部地域と隣接する塩原温泉など周辺地域との周遊観光ルートの構築を図ることで更なる観光振興が期待されています。

また、観光客が増えることで、「道の駅やいた」など農産物販売所の利用につながり、特産品などの販売量の増加も期待されます。



【完成イメージ図】



矢板のりんごは、果実を樹の上で完熟させてから収穫する「樹上完熟」を売りにしているため、りんご園の庭先や道の駅などでしか販売されていません。

JA しおのや矢板果樹部会 副会長 印南 伸弘さん スマートICの開通で、より多くの方に足を運んでもらえる環境が整います。これまで以上に美味しいりんごづくりに励んで、矢板のりんごのブランド力を一層高められるよう、部会員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。



泉地区を中心に市内のグルメ紹介冊子の発行やスタンプラリーを実施するなど、多方面の方々と連携しながら、地域活性化に取り組んでいます。

泉交流協議会 会長 森戸 康雄さん 今後新たに、スマートICを起点とした観光周遊コースをプレゼンし、多くの方々に「魅力ある矢板市」を知っていただき、お越しくさるよう、協議会として多くの情報を発信していきたいと思ひます。

### 効果③ 救急搬送の確保

矢板北スマートICの開通により、高速道路へのアクセスが向上することで、市外の医療機関への搬送時間が短縮します。特に北方面への救急車による緊急搬送のなかには、高速道路の利用（一般道からの転換）を見込める試算もあるなど、スマートICの開通は救急救命活動の支援にも繋がります。

また、災害時の指定避難所への緊急物資の輸送の迅速化・効率化も期待されています。



矢板消防署 副署長 藤田 裕二さん

矢板消防署では、令和元年に975件の救急搬送を行いました。搬送する方の症状によっては塩谷広域管内の医療機関で対応できないため、専門性のある市外の医療機関に高速道路を利用して搬送することもあります。

スマートICの開通で、高速道路への入口が2つになることから、市外へ救急搬送する際のルートを選択肢が増え、搬送時間の短縮による救命率の向上にもつながるので、ぜひ活用したいと思ひます。